

研究課題：「人工股関節置換術を受ける入院患者におけるタブレットパーソナルコンピューターの活用とその効果の検討—セルフケア能力と意欲に焦点をあてて—」

実施期間

データ収集期間：2015年12月～2019年3月

分析期間；2015年12月～2019年3月

研究機関

大阪大学医学部附属病院看護部 整形外科病棟

目的

音声の情報を加えた診療概要閲覧ソフト、体温や血圧、痛みの程度などを入力し体調管理ができるソフトが組み込まれたタブレットパーソナルコンピューター（以下タブレットPC）を患者さん自身に使用していただくことにより、入院生活・診療内容などの理解がしやすくなり、治療に対する不安感が軽減され、治療効果や入院生活への満足感により影響があることを期待し、その効果を調べることを目的としています。

方法

今回の研究に参加していただく方は、人工股関節置換術を目的とされ当病院整形外科に入院中の患者さん20名を予定しております。研究対象となられた患者さんには、タブレットPCを使用するグループと従来の紙のパンフレットを使用するグループに入っていただきます。入院生活や治療に対する不安とストレスの評価、入院生活の充実度に関するアンケートに手術前日、手術後3～5日目、手術1週目および手術後3週間目の、合計4回回答していただきます。また電子カルテより年齢、性別、既往歴、検査データ、手術後の人工関節と全身状態の問題点の有無について、調査させていただきます。電子カルテと記入していただいたアンケートをもとに、タブレットPCの効果について検討いたします。

意義

この研究により、動画・画像・音声情報など豊富な医療情報を含めたタブレットPCで患者さんが随時自己学習することにより、不安が軽減し、入院生活・手術・診療に関する理解度の向上および治療効果に関する効果が認められるかを明らかにすることができます。またこのようなシステムが患者さんの理解向上に役立つことが明らかになれば、今後人工股関節置換術以外の手術情報や病院設備・検査機器の説明などを電子情報化し、タブレットPCにより提供することで、患者さんへの医療サービスの全般的向上に役立つ可能性があります。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は、貴重な資料として学会や看護学雑誌で公表されることがあります。その場合、患者さんの個人情報は、外部から特定できないように厳重に管理されます。この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法および結果についての資料を見ることができます。この研究に参加するかどうかは患者さんの自由です。研究への参加を断っても、不利益をうけることは一切ありません。参加を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

大阪大学医学部附属病院看護部整形外科病棟

研究責任者：看護師 野村一葵

電話番号：06-6879-6200